

# 福祉サービス第三者評価 評価結果

【保育所】

## にじいろ保育園戸塚

横浜市戸塚区戸塚町 4915-4

運営主体：株式会社 サクセスアカデミー

実施概要	1 ページ
総合評価（評価結果についての講評）	2～3 ページ
分類別評価結果	4～15 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	16～22 ページ
利用者本人調査分析	23～24 ページ
事業者コメント	25 ページ

2010年2月16日 作成

実施機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

## 実施概要

事業所名	にじいろ保育園戸塚（保育所）		
事業所への 報告書提出日	2011年1月6日	評価に要した期間	7ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま		

### 評価方法

1、自己評価 実施期間 2010年6月10日～9月15日	職員会議とパート会議で全職員に第三者評価の趣旨を説明し、各個人が記入した後、勉強会を重ね見直し記入をした。 各個人が記入した自己評価を基に4つのグループに分かれて会議を開き、一項目ずつ意見交換を行い検討した。 そのデータを係が集計し、園長・主任・係が話し合いを持った後、再度常勤職員全員で職員会議を開き、意見交換をしながら一項目ずつ確認し、まとめた。
2、利用者家族アンケート調査 実施期間 2010年9月1日～14日	全園児の保護者（44世帯）に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡しで配付した。 各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。
3、訪問実地調査 実施日：第1日 2010年11月8日 第2日 11月12日	[第1日] 午前：各クラスで保育観察。朝のミーティングの様子も観察。 昼食：2歳児クラスと幼児クラス（3～5歳児の異年齢クラス）で園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後：書類調査及び園長・主任・法人本部職員に面接調査。 [第2日] 午前：朝は登園の様子を観察。その後、各クラスで保育観察。 昼食：2歳児クラスと幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察、その後書類調査。 午後：各クラスリーダー（看護師含む）4名、栄養士、非常勤職員、主任に個別に面接調査。 その後、園長・主任・法人本部職員に面接調査。 最後に意見交換を行った後、園児の降園の様子と各クラスの保育観察を行い、終了。
4、利用者本人調査 実施日：第1日 2010年11月8日 第2日 11月12日	観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施し、戸外・園外での活動も観察した。 幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。

## 総合評価（評価結果についての講評）

### 【施設の概要】

「にじいろ保育園戸塚」は、JR 及び横浜市営地下鉄線の戸塚駅より徒歩約 5 分ですが、大通りから路地をちょっと入ったところにあり、3 年前に新築された 3 階建居住用マンションの 1 階部分にあります。小さいながら園庭があり、砂場やウッドデッキもあって、プランターで花や野菜の栽培もしています。園のすぐ向かいには昔ながらの魚屋、裏手には大きなお寺と、この境界は古い街並みも残っていますが、戸塚駅の再開発とともに、園の斜め前に新しい大型商業施設ができ、園の入口すぐ近くが駐車場の出口になっています。

2008 年（平成 20 年）4 月に、0 歳から 5 歳まで定員 54 名で開園した認可保育園です。開園時間は平日午前 7 時～午後 8 時、土曜日は午前 7 時～午後 6 時です（延長保育時間を含みます）。

運営法人の株式会社サクセスアカデミーは、保育園や学童クラブ、児童館等の運営、病院・企業・大学内の保育施設の受託運営、保育施設運営のコンサルティングサービス等を、首都圏中心に展開しています。

保育理念は「みんなが輝く社会のために」として、「陽だまりのような保育園」「地域と共に育つ保育園」「子どもとともに輝いていける保育園」を掲げています。

保育目標は、保育理念に基づき「～みとめ愛・みつめ愛・ひびき愛～信頼・安定・共感」とし、具体的には以下の 6 項目をあげています。 自然を愛し、心身共に健康な体 意欲と根気のある子ども

「仲間」と関わり、人を思いやれる心 想像し考えて行動する子ども 自己を表現できる子ども  
基本的生活習慣を身につけ、健康で元気に遊ぶ子ども

### 高く評価できる点

#### 1、子どもたちは一人ひとりが大切にされ、家庭的な雰囲気の中で過ごしています

乳児クラスは個別の対応を重視して、職員の配置も手厚くしています。一人ひとりの生活リズムが大切にされ、愛情深く見守られ、子どもたちは優しい表情をしています。乳児クラスは年齢別になっていますが、朝夕はいっしょに過ごし、1、2 歳児は朝、合同で短い集会をし、散歩も一緒に行くことが多くあります。子どもたちは公園でも砂場でもじっくり遊んでいます。落ち葉を集めたり、砂のプリンにドングリ等でトッピングをしたり、中には大きな木の根元をじっと観察している子どももいます。保育士は無理に遊びに誘ったりせず、一人ひとり子どもの興味に沿って声かけをしています。

幼児は 3 歳児から 5 歳児まで異年齢児混合クラスとなっていて、保育時間の大部分を一緒に活動しています。散歩には年上の子どもが年下の子どもと手をつないでいき、公園では鉄棒、かけっこ、ボール遊びなど、自然に異年齢の子どもが一緒になって遊んでいます。室内で自由に遊ぶ時間には、4、5 歳児が夢中になって廃材などを使ってびっくり箱やキャタピラー等を作っていました。ハサミを使い始めた 3 歳児はそれを見ながら刺激を受けている様子です。

子どもたちは日々自然な形で異年齢の子どもとも交わりながら過ごしています。

#### 2、職員は意欲的に保育に取り組んでいて、良いチームワークができています

開園 3 年目で、若い職員の多い園です。初めは戸惑いながらも、先輩たちの支援や協力を得てがんばって取り組み、自信がついて意欲的になっていく、そういった前向きの生き生きとした雰囲気があります。研修の受講者も多く、受講した内容を検討し、保育室の使い方や保育の工夫も盛んに行われます。園長・主任はそういった職員の意欲・向上心を受け止め、様々な試みを見守り、徐々に一人ひとりに園

運営の責任を担う役割を増やしていきます。新しい園を皆で作りに上げてきた中で、園長・主任を中心としてまとめ、職員の息も合ってきて、職種を超えたチームワークが出来てきました。職員のヒアリングでも、「コミュニケーションがとても良い」「家庭的」「園長・主任が心を配ってくれる」という職員の思いを聞くことが出来ました。

また、職員は常勤・非常勤の区別なく、皆で子どもたちを見守っています。職員会議では全ての子どもを話し合うことができます。保育室は、幼児クラスも1、2歳児クラスもワンルームをロッカーなどで区切って使っていますが、全体を見渡せる利点があり、職員は臨機応変に互いに補い合い、助け合っています。自分の持ち場を短時間でも離れる時は必ず他の職員に声をかける姿が見られます。園長・主任もさっと応援に入ったり、時によって個別対応が必要になった子どもが園長といっしょに事務室で過ごしたりもしています。保護者アンケートでは、「職員の方が皆さん子どもの名前を覚えてくれているので嬉しい」「アットホームだ」という意見が寄せられています。

### 3、運営法人本部との連携が活きています

園長・主任を中心として良いチームワークができてきた背景には、法人本部との密接な連携があります。法人本部が保育園運営のノウハウや仕組みなど、基本的な部分を担います。また、保育課程からマニュアル類まで法人本部がモデルを提供し、園の実情に合わせてすぐに活用することができます。それらを基に、園独自のマニュアルも出来ていきます。このように、まずは枠組みが法人本部中心に出来あがっています。

次に、保育内容、質の向上の面でも法人本部と連携しています。理念を実践するための法人本部主催の研修は、新人研修から始まり、フォローアップ、レベルアップ、園長、主任、栄養士、看護師研修等、様々な角度から考えられ、実施されています。また、園長会議を始め、職種別の会議で、系列の21園との情報交換や学び合いもでき、それを自園に持ち帰ります。系列園での実習や見学も行っています。

法人本部はまた、各園に外部の臨床心理士から毎月巡回してもらおうよう委託して、子どもの姿を客観的に見た上で、職員や保護者の相談にも応じられる体制を作っています。各園担当の法人本部職員も定期的に園を訪問して支援しています。そのような支援と配慮のもと、同じ目標を目指す職員集団が育ってきています。

#### 更に工夫が望まれる点

##### 地域支援の更なる充実を

開園3年目で園の基礎が固まってきました。今後、保育内容の充実を更に目指していく時期になります。地域支援については現在も既に行っていて、地域の親子を対象とした「親子ひろば」や、随時、園庭開放と、毎週水曜日に育児相談を行っています。「親子ひろば」には園長、主任、保育士のほか、看護師、栄養士も参加し、育児相談は臨床心理士による相談日も月1回設ける等、保育の専門性を活かしたサービスを提供しています。しかし、実際の利用者が少ない現状が惜しまれます。園としても、今後の課題の中に「地域へ保育園の認知度を高め、地域の人が気軽に利用できる保育園を目指す」という項目をあげています。実際のニーズの把握・分析を重点的に行うとともに、課題に対する具体的な実施計画をもって取り組むことが期待されます。

## 分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。



「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

### 評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p>  <p>(1) 保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。</p> <p>(2) 保育課程は、保育の基本方針に基づき、保護者の実状などを考慮して作成されているか。</p> <p>(3) 日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の理念は、 ～みんなが輝く社会のために～ 1．陽だまりのような保育園 2．地域と共に育つ保育園 3．子どもとともに輝いていける保育園 としていて、利用者本人を尊重したもとなっています。</li> <li>・保育理念は、職員全員が持っている業務マニュアル「保育ガイド」に明記してあり、法人本部の研修や園内の職員会議、勉強会でたびたび学び直し、職員は理解し、実践しています。</li> <li>・保育課程は、保育の基本方針に基づき、地域の実態、周囲の環境を考慮して作成しています。例えば、周囲の公園の活用や、地域活動の手伝いなどを盛り込んだ内容となっています。また、長時間保育への配慮をするなど、保護者の実情をも考慮して作成しています。</li> <li>・指導計画は、日常の保育を通して子どもの意見や意思を反映するようにしています。乳児の場合は、表情や身振りから子どもの気持ちを汲み取れるように子どもを観察し、複数の職員で話し合い、子どもの望んでいることを感じとるように努めています。幼児の場合は実際に子どもたちと話し合い、様々な行事の内容や散歩コース、遊びなどについても子どもの意見を尊重しています。</li> </ul>
<p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p>  <p>(1) 入園前に子どもの発達状況や課題を把握しているか。</p> <p>(2) 新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか。</p> <p>(3) 子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入園児受け入れにあたり、入園前に、園長または入園後の担任が親子面接を行い、保護者の不安なども気軽に相談できる場になるようにしています。0歳児の場合、特に細かい状況を知るために、看護師、栄養士も面接に参加しています。</li> <li>・入園までの生育歴や家庭での状況を把握するために、事前に調査用紙を配付して面接時に提出してもらっています。</li> <li>・新入園児受け入れ時には短縮保育(ならし保育)が必要であることを、入園面接時に保護者全員に説明し、理解してもらっています。時間や期間は子どもの様子や保護者の都合も考慮しています。0歳、1歳の新入園児に対しては、基本的に一人ひとりに主担当を決め、年度当初は職員配置を手厚くして、子どもの不安を受けとめられるようにし</li> </ul>

	<p>ています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画は、保育士を中心として、看護師、栄養士等複数の職種も関わり、子どもの発達や状況に応じて作成・評価・改定する仕組みになっています。評価・改定に関しては、保護者との会話や連絡ノートから、家に帰ってからの子どもの様子や反応も含めて、保護者の意向も反映するようにしています。</li> </ul>
<p>- 3 快適な施設環境の確保</p>  <p>(1) 子どもが快適に過ごせるような環境（清潔さ、採光、換気、照明等）への配慮がなされているか。</p> <p>(2) 沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。</p> <p>(3) 子どもの発達に応じた環境が確保されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅用マンションの1階の3部屋をウッドデッキで繋いだ造りとなっています。開園3年目の新しい施設設備で各保育室は椎のフローリングや木製家具を使用し、ぬくもりの感じられる明るい環境となっています。また、特に乳児クラスの日当たりが良く、アサガオのグリーンカーテンなどで採光を調節しています。</li> <li>・子どもが快適に過ごせるように、園舎は常に清潔に保っています。清掃はマニュアルに沿って行い、全職員が交代で清掃し、清掃チェック表をつけ管理しています。保育中は空気清浄機を常時使用し、必要に応じて加湿器も使用し、24時間換気をしています。</li> <li>・沐浴設備があり、0歳児は夏季には原則として毎日沐浴を行い、沐浴台は一人使用したら洗っています。また、温水シャワーの設備があり、プール遊び・水遊びの前後、砂場遊び・泥遊び・造形活動等の活動後は、必要に応じてシャワーを浴びて着替えをしています。</li> <li>・乳児クラスには、小集団保育が行われるように、手作りの仕切りなどを使用してコーナーを作り、子どもの要求・状態に合わせて工夫しています。</li> </ul>
<p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p>  <p>(1) 子ども一人ひとりの状況に応じて保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しているか。</p> <p>(2) 子ども一人ひとりの発達の段階に応じた対応をし、その記録があるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別指導計画は、0、1歳児についてはクラス会議で話し合って作成しています。幼児については特別な課題のある場合に作成しています。障がい児の場合は担当保育士がクラス担任と話し合って作成し、クラス担任と連携をとって保育にあたっています。</li> <li>・子どもや家庭の個別の状況・要望は、入園時に提出してもらった児童調査票に記録し、入園後の子どもの成長発達状況は、毎月児童票に記録します。発達経過表は月齢に応じて記入し、個別にファイルしています。記録内容はクラス会議や職員会議で全職員が共有しています。</li> <li>・重要な申し送り事項は「年間のまとめ」に記入し、進級時には必ず、新担任に児童票等の書類とともに口頭でも伝えていきます。また、どのクラスも保育士の一人は持ち上がりの担任としているので、伝達はスムーズに行っています。</li> </ul>

## - 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- (1) 特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。
- (2) 障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。
- (3) アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか。
- (4) 外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。

- ・家庭状況で配慮が必要な子どもや、発達に課題のある子どもについては、ケース会議で話し合い、ケース表に記録を残しています。必要な情報は、主に横浜市こども青年局主催の研修や白峰学園保育センターの研修に参加して学習し、実践に役立てています。また、月に1回、法人本部が契約している臨床心理士の巡回相談を受けているので、その際にも情報を得ることができます。
- ・障がいのある子どもの保育については、全職員が一貫した対応をするように、職員会議で話し合う体制ができています。研修を受けてきた職員は、必ず職員会議で報告し情報を共有しています。また、保護者の同意を得て、戸塚地域療育センターや、こども医療センターとも連携して保育にあたっています。
- ・障がいのある子どもには担当保育士を配置し、担当保育士が担任と話し合っって個別指導計画を作成しています。その子どもの障がいの特性を考慮して、無理なく安全に活動できるように、またクラスの他の子どもとなるべく同じ活動ができるように配慮した計画を立てています。
- ・アレルギー疾患のある子どもへの対応は、子どもの主治医の指示に従い、保護者の意向も取り入れながら、園長、主任、クラス担任、看護師、栄養士で対応方法を決定し、除去食対応シートを作成しています。毎月、翌月のメニューについて個別に保護者と相談し、少しずつ食べられるように慣らす試みもしています。
- ・除去食は専用トレイ・食器を使用し、配膳の際にはボードで確認するとともに、栄養士、保育士等複数の職員で確認し、誤食のないように注意しています。  
他の子どもたちとは、トレイも違うので、子どもたちが納得できるように説明し、子どもたちは理解しています。卵を使用しない代替食などは、見た目が同じようになるように配慮しています。
- ・文化の異なる子どもは、現在は在籍していませんが以前は在園していたので、文化や生活習慣、考え方の違いを認め尊重し、柔軟な対応に努めました。あいさつなど簡単な言葉はその国の言葉を使ってコミュニケーションを図ったり、宗教によって食事が違う場合に、除去食や代替食で対応したりしました。

## - 6 苦情解決体制



- (1) 保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。
- (2) 要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。

- ・「苦情解決マニュアル」を整備していて、迅速に対応する仕組みがあります。
- ・入園のしおりに、要望・苦情の担当者、苦情解決責任者を記載して知らせています。また、第三者委員(地域の主任児童委員と商店街役員)に直接苦情を申し立てることができるように、連絡先を園に掲示するとともに、保護者全員に配付しています。そのほか、保護者は法人本部に直接、要望・苦情を伝えることもできます。
- ・「運営委員会」(園長・主任・法人本部職員・保護者代表・第三者委員で構成)や、「にじいろ会」(園長・主任・クラスリーダー・看護師・栄養士・保護者希望者で構成)の場でも、園への要望を聞いています。また、年度末には保護者から年間を通してのアンケートを取り、要望を次年度に活かすようにしています。保護者の要望により、平日

- 開催していた「にじいろ祭り」を土曜日に変更して企画したこともあります。
- ・園単独で解決困難な苦情等の場合には、区福祉保健センターに相談する体制はあります。
  - ・園では、日頃から要望や苦情を受け付けやすい関係づくりに心掛け、園長は保護者のどのような内容の話でも傾聴する姿勢を持つように努めています。
  - ・苦情があった場合には、職員会議を開き「なぜ起きたか」「今後の対応」「二度と起こらないために」を話し合い、場合によってはマニュアルを修正・追加します。

## 評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育内容[遊び]</p>  <p>(1)子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができているか。</p> <p>(2)遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。</p> <p>(3)動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。</p> <p>(4)子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。</p> <p>(5)遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。</p> <p>(6)積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃや絵本は、子どもが取り出しやすい高さの棚や見出しを付けた籠に置いてあり、自由に取り出せるようになっています。保育士は良質のおもちゃを選んで購入したり、牛乳パックの乗り物やペットボトルのマラカス等、工夫してリサイクルおもちゃを手作りしています。</li> <li>・木のぬくもりのあるテーブルや棚、高さの違う椅子、安全性の高い材質のおもちゃ等、年齢や発達にふさわしい環境に配慮しています。</li> <li>・室内に畳等の敷物を敷き、棚や、倒れても軽くて安全なパーテーションでコーナーを区切って、子どもたちが落ち着いて好きな遊びを十分できるようにしています。</li> <li>・砂場や公園での「ごっこ遊び」等の自由な遊びが、集団遊びや行事の出し物に発展することもあります。一方、やりたくない子には無理強いせず、一人ひとりの気持ちを尊重しています。</li> <li>・園庭のプランターでキュウリやピーマン、ナス、エダマメ、サツマイモ等を育てて収穫物を食育に利用したり、また子どもたちの野菜嫌いの克服にも一役買っています。</li> <li>・アサガオ等の草花を育てたり、カブトムシやオタマジャクシを水槽で飼育したりしていて、図鑑を見ている子も多く、小さな生き物への興味・関心が育っています。</li> <li>・公園遊びを多く取り入れ、会う人とあいさつを交わしたり、途中の花屋や魚屋を見たりしています。幼児を中心にみかん狩りや芋掘り、水族館見学や図書館利用等をして、自然体験や地域を知ることが大切に行っています。</li> <li>・乳児には手遊びやわらべ歌を多く取り入れています。幼児には文房具や牛乳パックやトイレットペーパーの芯等の廃材を常に用意し、自由に使えるようになっていますし、毎日の朝の会等の歌、週1回のリズム遊び、月2回の造形活動でも、表現することを楽しんでいます。</li> <li>・保育士は、けんかやもめごとをなるべく子ども同士で解決できるように見守っていますが、年齢が低かったり、解決できなかつたりするときは、発達段階に合った言葉かけや介入をして、支援しています。日</li> </ul>

	<p>常、笑顔で子どもを抱っこしたり話しかけたりしていて、保育士は子どもたちから信頼されています。ルール違反を注意しても、子どもたちはよく聞いています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児は異年齢クラス編成で、常に異年齢児が交流しています。また、乳児同士や、乳児と幼児でも異年齢交流の機会を多くして、刺激を受けたり思いやりの気持ちを育てたりしています。</li> <li>・ 積極的に屋外で過ごしたり裸足保育をしたりして、健康増進に努めています。乳児クラスではマットや室内遊具でよく体を動かし、幼児クラスは広い公園で思い切り体を動かしたり、週1回の体操教室で調整力を身につけたりしています。紫外線対策や虫さされ対策、体調のよくない子は園長や保育士、看護師が室内で見守る等の配慮もしています。</li> <li>・ 保育士は、子どもの遊びや体力作りについて研究を重ねていて、一昨年度「年齢・発達に合った子どもの遊び」を法人本部の研修会で発表しました。昨年度は「年齢に合った散歩のしかた」を園内研修のテーマとし、今年度は、一昨年度の「遊び」の研究を再度取り上げ、クラスでの活動記録を発表し合い学んでいます。</li> </ul>
<p>- 1 保育内容[生活]</p>  <p>(7)食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。</p> <p>(8)食事の場、食材、食器等に配慮しているか。</p> <p>(9)子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。</p> <p>(10)子どもの食生活について、家庭と連携しているか。</p> <p>(11)午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。</p> <p>(12)排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給食は無理強いせず、時間をかけて食べられたら誉めるようにしていて、残食はほとんどなくなって来ています。</li> <li>・ 子どもの年齢や発達に合わせて、抱っこして授乳したり、一人ひとりの食べるペースを大切にしたりしています。</li> <li>・ 栄養士は、毎日、給食時に見て回ったり、月1度テーマを決め、食材や食事マナー等について子どもたちに指導したりしています。また、子どもたちは、クッキングの時間によもぎ団子、まんまるじゃが、おにぎり等を作り、調理を楽しんでいます。</li> <li>・ 食事の場にふさわしい音楽を流す等、環境を整え、子どもの発達に合った食器を用意し、幼児は当番活動として食前にテーブルを拭いたり、食後に食器をまとめたり、おやつ配膳をしたりしています。</li> <li>・ 毎月給食だよりや献立表を保護者に配付し、レシピも載せています。保護者が給食の試食ができる機会を年2回設け、参加者の声も参考にしています。</li> <li>・ 午睡は食事と場を分け、遮光カーテンで明るさを調節し、静かな曲をかけ眠りを誘うようにして子どもたち一人ひとりの睡眠リズムを大切にしています。0、1歳児は10分ごとに一人ひとりの顔を見て、呼吸の確認とともに、体調の変化にも気を配っています。5歳児は1月頃から午睡を減らし、就学に備えていきます。</li> <li>・ 一人ひとりの排尿リズムを把握し、個別に対応するとともに、トイレトレーニングは保護者とよく話し合い、無理のないようにしています。</li> </ul>

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- (1)子どもの健康管理は、適切に実施されているか。
- (2)健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。
- (3)感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。

- ・健康管理に関するマニュアルが整備され、看護師を中心に、園児一人一人の健康状態を把握しています。送迎時の会話や連絡帳、保健だより等で家庭との連絡を密にしています。
- ・乳児クラスの歯磨きは子どもの様子を見て開始時期を決め、保育士が仕上げ磨きをする等、段階的な指導をしています。幼児クラスは看護師や担任が手洗いや歯磨き等、健康や清潔について指導する時間があります。ただし給食時はその指導が手薄になっていることもありますので工夫が必要です。
- ・健康診断や歯科健診の結果のほか、健診前に、気になることを園医に相談できることを保護者に伝えています。
- ・感染症等への対応に関するマニュアルがあり、マニュアルに沿って対応しています。必要な情報は速やかに保護者に連絡しています。
- ・園長、看護師は近隣で流行している感染症の情報を受けると速やかに職員に伝え共有し、園内での流行を最小限にするよう努めています。

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



- (4)衛生管理が適切に行われているか。

- ・衛生管理についてのマニュアルがあり、看護師を中心に衛生管理についての最新情報を得て、職員会議等で定期的に見直しています。
- ・汚物の処理に関するマニュアルに沿って、看護師が年1回保育士対象に処理方法を実技講習しています。必要な物品はセットにしてトイレ等に置き、すぐ対応できるようにしています。
- ・幼児クラスでは、看護師がヨード液を使用して手洗い方法を指導し、そのポスターを見て手洗いの確認をしている子どももいます。
- ・各保育室、トイレ、調乳室に掃除マニュアルを掲示し、チェックリスト等で毎日点検し、園内は清潔が保たれています。

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



- (5)安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。
- (6)事故や怪我の発生時および事後の対応体制が確立しているか。
- (7)外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。

- ・安全管理に関するマニュアルや事故対応マニュアルがあり、事故・災害の対応を全職員に周知しています。耐震設計の家具を使用したり、毎月設定を変えた防災訓練をしたり、緊急連絡体制を整えたり、日常から安全対策をしています。また、職員室や保育室に医療機関の一覧表とともに、119番のかけ方を掲示する等細やかな対応をしています。
- ・全職員が心肺蘇生法やA E Dの使用方法等についての講習を受けています。
- ・子どものケガは速やかに園長に報告し、看護師が必要な手当てをして保護者に報告しています。「ひやりはっと」記録や事故報告書に記入したことは、職員会議等で共有し、再発防止に努めています。
- ・園の門扉は施錠され、玄関はオートロックとなっていて、インターホンで来園者の確認を行ってから開けています。
- ・職員室と保育室に警備会社につながる警報機が設置され、緊急時に警備員が駆け付ける体制ができています。不審者情報が寄せられる体制も整い、近隣住民とも万一の非常事態に援助を受けたりできるような関係作りに努めています。

### - 3 人権の尊重



- (1) 保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。
- (2) 必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。
- (3) 個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。
- (4) 虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。
- (5) 性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

- ・人権についてのマニュアルがあり、職員は子どもへの言葉かけを研修し、相互に振り返りをしています。
- ・子どもをせかしたり強制したりせず、日常はもちろん叱るときも呼び捨てにせず、分かりやすい言葉で子どもの心に響くようにしています。
- ・オムツ交換や下着を脱ぐとき等は、コーナーやパーテーションを利用して場を作る等の工夫をしています。
- ・守秘義務や個人情報の取り扱いについてのマニュアルがあり、全職員に周知しています。また、実習生やボランティアも誓約書に署名し厳守しています。個人情報に記載されている書類は鍵のかかるロッカーに入れ、園外に持ち出さないようにしています。
- ・虐待についてのマニュアルがあり、全職員に虐待の定義等を周知し職員会議等で話し合い、情報を共有し、必要に応じて迅速な対応をしています。
- ・虐待が疑われたり、明らかになったりした場合、関係機関に通報・相談をする体制はあります。それ以上に虐待に至らないように子どもの様子や変化にも気を配り、保護者とのよい関係づくりに努め、予防をするようにしています。
- ・遊び、行事等何をするときも性別で分けることはせず、持ち物・服装も性による区別をしていません。
- ・父母の役割も固定的に捉えた対応をせず、子どもたちの名前呼び方も大勢の前やクラスだよりでは、男女とも さんと呼んでいます。
- ・保育士は、無意識に性差による固定観念で保育をしていないか、日頃からミーティング等で振り返りをしています。

### - 4 保護者との交流・連携



- (1) 保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。
- (2) 個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。
- (3) 保護者の相談に応じているか。
- (4) 保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。
- (5) 保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。
- (6) 保護者の自主的な活動の援助や意見交換を行っているか。

- ・入園のしおりに理念と保育方針を明記し、入園説明会や懇談会で説明して園内にも掲示しています。保育方針をもとに行っている活動の写真や、毎日の午前の活動の様子を伝える「今日の クラス」の掲示、園だより、クラスだより、保健だより、給食だより、連絡帳等で、保護者に具体的に理解されるように努めています。
- ・行事だけでなく普段の保育活動の写真も撮って、コメントをつけて掲示したり、子どもたちが制作したものを展示し、保護者に見てもらっています。
- ・乳児クラスは毎日連絡帳に記入し、幼児クラスは必要に応じて連絡帳に記入し、保護者と連絡を取り合っています。降園の際は、子どもの様子を口頭でもなるべく伝えるように努めています。
- ・年2回の個別面談、年3回のクラス懇談会のほか、希望があれば、いつでも個別面談に応じています。懇談会は、保護者が出やすいよう土曜に開催したりと配慮しています。保護者からの相談も、園長、看護師、栄養士、担任が応じるほか、月1回の臨床心理士による相談も対応しています。
- ・年間行事予定は入園説明会の時期に配付し、変更があれば速やかに伝え、保護者が行事に参加しやすくしています。保育参加はいつでも受け入れていて、懇談会に出席できなかった保護者には報告書を見てもらい、内容を伝えていきます。

- ・保護者会はありませんが、保護者が自主的な活動を望んだときは、保育に支障がなければ、いつでも場所を提供したり、職員が協力したりする用意があり、実績もあります。
- ・保護者と園が話し合う「にじいろ会」や、園の「運営委員会」等に保護者が出て意見交換を行う機会は多くあります。

## 評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>  <p>(1) 地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子育て支援ニーズについては、園の見学者や、行事の参加者等から聞いたり、園長が参加している幼・保・小の研修や園長会、加盟している地域の商店街等から情報を把握しています。園から地域に向けては、保育園体験、育児相談も実施しています。</li> <li>・地域の親子を対象に「親子ひろば」を実施し、ベビーマッサージ、ふれあい遊びや手作り遊具の紹介等、専門性を生かしたサービスの提供に努めているので、さらに参加者を増やす工夫が今後は期待されます。</li> </ul>
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p>  <p>(1) 地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。</p> <p>(2) 相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週水曜日の育児相談や月1回の臨床心理士の相談を実施し、園や地域の掲示板で知らせ、希望に応じています。情報を載せた園からのお知らせや園だよりを地域の小学校や商店街等に提供しています。さらに定着するにつれて、参加者が増えることが期待されます。</li> <li>・相談内容に応じて、地域の関係機関のリストがあり、連絡先を掲示し職員が周知しています。連絡の担当者は園長で、関係機関とは必要な時ネットワーク会議を開く等連携しています。</li> </ul>

## 評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>  <p>(1) 保育園に対する理解促進のための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の「にじいろ祭り」や運動会には、地域住民を招待して参加できるプログラムを用意したり、敬老の日の交流会では、子どもたちが地域の高齢者から伝承遊びを教えてもらったりしています。また、地域のお祭りや小学校の運動会に子どもたちと保育士が参加して、交流を図っています。</li> <li>・地域への施設開放については、土曜日に保育室を貸しています。備品の貸し出しについては、たらいや身長計等を貸し出ししています。</li> <li>・散歩マップを作り、天気の良い日は近隣の公園を十分活用しています。行き帰りに会う人とあいさつをしたり、魚屋に魚を見せてもらったり、花屋でプランターに植える苗の買い物をしたりしています。</li> <li>・園外行事では、舞岡ふるさと村『虹の家』での芋ほりや、湘南台文化センター子ども館、戸塚図書館等を利用し、子どもの生活の充実に努めています。</li> </ul>

<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p>  <p>(1) 将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。</p> <p>(2) 利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園のパンフレットは、区役所や、戸塚区子育て支援拠点「とっとの芽」等に置いて、地域住民に提供しています。また子育て情報誌「ちゅーりっぷ」や、園のホームページで情報提供をしています。</li> <li>・サービス内容は園のしおりやホームページにも載せていますが、問い合わせには個人情報でない限り丁寧に答えています。</li> <li>・見学は常時受け付けていることを掲示版等で知らせていて、園長・主任が対応しています。曜日・時間等は見学者の希望に沿うようにしています。</li> <li>・見学時に保育体験ができるようにしたり、見学後の質問等にも答えたりしています。</li> </ul>
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p>  <p>(1) ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。</p> <p>(2) 実習生の受け入れを適切に行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアや実習生の受け入れマニュアルがあり、職員に周知しています。受け入れるときは、保護者にも園だより等で知らせて理解を求め、ボランティアや実習生に対しても、守秘義務、園の方針、園児への配慮等を説明し、終了時には感想を出してもらっています。受け入れの担当者は主任です。</li> <li>・主任は保育士養成校の実習協議会にも参加しています。養成校のプログラムを考慮し、実習計画を立てています。</li> <li>・実習生の指導は、園長・主任・配属クラスの担任が行い、実習日誌に目を通し意見交換をする等、後進を育てるために力を入れています。実習後、運動会やお楽しみ会の行事手伝い等のボランティアを希望する実習生もいます。</li> </ul>

## 評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p>  <p>(1) 保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。</p> <p>(3) 非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人本部の研修では、非常勤職員も含めて全職員が保育理念・目標を理解することを目指して新任研修等を実施しています。園内研修としては、理念・目標・方針が保育場面で活かされるように定期的に会議の中でとりあげ、保育場面での具体例を通して共通理解を図っています。</li> <li>・常勤職員は毎月1回、チェックシートで理念・保育観を含めた自己評価を行い、年度初めと年度末には「業務確認シート（自己評価票）」を記入し、振り返りをもとに、新たに目標を設定します。また、年に一度、園長面接が行われ、自己評価・自己確認をし、達成に向けて努力しています。</li> <li>・園長が研修担当者として、月別の年間計画表を作成し、年度末に研修成果の評価と見直しをして、次年度の予定を立てています。</li> <li>・法人本部の研修は、法人本部と園長が現任研修・スキルアップ研修・レベルアップ研修を企画し、系列園での実習や見学も行っています。そのほか、主任・看護師・栄養士は、法人本部でそれぞれの職種別に系列園と情報交換をし、研修に参加しています。</li> <li>・園内研修には、常勤職員は全員、また、非常勤職員も自主的に参加できる仕組みを作り、主任がシフト調整をしています。</li> </ul>

	<p>園内研修の一つとして、テーマを決めて年間を通して学ぶ研修をしています。今年度は「年齢・発達に合った子どもの遊び」を課題として、各クラスの活動記録を発表し合い、遊びについて学習しています。そのほか、職員会議の場を利用して、理念の学習会や、看護師による衛生関係の学習会、栄養士によるアレルギーや食品関係の学習会を行っています。また、地域の消防署の協力を得て「救急法」「消火訓練」を常勤職員は全員、非常勤職員も複数受講しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部研修は、横浜市こども青年局や白峰学園保育センター等が主催する研修の計画表を掲示し、職員が希望する研修を選んで積極的に参加しています。</li> <li>「リズム」研修（月1回）には年間を通して2名の職員が参加しています。</li> <li>研修に参加した職員は、職員会議で報告して情報共有に努め、実践できるものはすぐに保育に活かしています。例えば、園で週1回実施しているリズム遊びにも活かしています。</li> <li>非常勤職員にも常勤職員と同様、基本方針から日々の業務内容や心構えが詳細に記載されているマニュアル「保育ガイド」を配付しています。</li> <li>月に1回「パート会議」を行い、園内の連絡事項を伝えるとともに、勉強会も行って、業務遂行内容の統一・共有を図っています。また、常勤と同様、月に1回、非常勤職員も自己評価チェックシートを記入して保育の振り返りを行い、年度末には年度初めに立てた目標の振り返りと次年度の課題、そのほか園の理念・目標・職員との連携等についての記述式の自己評価を行って資質向上に努めています。</li> <li>園内では常勤・非常勤の別は無く、行事後の打ち上げも共に行い、職員健康診断等も常勤同様にしています。そのためもあり、職員間には良好なコミュニケーションがとれていて、非常勤職員のヒアリングでは、「同じ仲間として仕事ができ、働きやすい」という声が聞かれました。</li> </ul>
<p>- 2 職員の技術の向上</p>  <p>(1) 職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員会議等の各種会議で保育の振り返りをしていますが、年度初めと年度末の職員会議では重点的に保育サービスについて見直し、それらの過程で職員の評価とスキルアップを図っています。</li> <li>外部の臨床心理士に月1回来園してもらい、保育についてアドバイスを受けています。また、系列の他園の園長にも職員会議に参加してもらってアドバイスを受けています。</li> </ul>
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p>  <p>(1) 本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員のモチベーション維持のため、職員の適性・経験・能力に応じて自主的な自己課題を設け、それが具体的な成果として表れるように、業務の役割を分担しています。今年度は、リーダーや行事担当のほかに、園内研修・図書・教材などの係を設け、各自の園運営への意識向上を図りました。</li> <li>また、園行事やカリキュラムでは、職員個々の得意分野を活かして企画・進行したりすることで、自己目標の達成に向けて取り組んでいます。</li> <li>年一回の園長面接で、職員が労働意欲と自主性を発揮し、それぞれの</li> </ul>

	<p>個性を活かせるように相談に応じています。また、その際、職員一人ひとりが提出した業務確認シートに、園長が今後の課題と期待する業務を記載し、面接時に本人に伝えていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年一回の職員の意向調査を行う際にアンケートを配付し、法人本部と園に対する職員の意見・要望を聞いています。法人本部からの職員満足度調査アンケートもあります。必要に応じて法人本部と直接話す機会を作っています。</li> </ul>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p>  <p>(1) 事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。</p> <p>(2) サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の守るべき法・規範・倫理等が明文化された業務マニュアル「保育ガイド」が全職員に配付され、入社時に法人本部で研修が行われます。園内では、「保育ガイド」の内容についてさらに継続して勉強会を行って全職員に周知しています。</li> <li>・経営・運営状況等の情報は法人本部の園長会で報告され、園長の責任において職員に周知徹底しています。また、運営委員会において園の運営状況等について報告し、玄関には経営収支報告書を常備して、関係者は誰でも見ることができるようになっています。</li> <li>・環境への考え方や取り組みは、事業計画の「環境問題の取り組み」に明文化し、日常の保育でも職員一人ひとりがゴミの減量化・リサイクル・省エネルギーの促進等に取り組んでいます。</li> <li>・廃材を常時収集し、牛乳パックやペットボトルを手作り玩具に利用したり、子どものテーブル・ベンチ・足置き台・車などを多数製作して有効利用しています。また、保育でも、教材の折り紙は広告誌を各種サイズに裁断したものを使用したり、廃材での製作を積極的に取り入れたりして、子どもたちがリサイクルを実体験として体験するようにしています。</li> </ul>
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p>  <p>(1) 保育園の理念や基本方針等について職員に周知されているか。</p> <p>(2) 重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。</p> <p>(3) 主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念・基本方針は、「保育ガイド」に明文化してあり、職員会議でも適宜説明し、確認しています。また、毎月職員がチェックする自己評価チェックシートにも、「理念・保育観」という項目があり、職員に周知されています。年1回の園長面接や、日常的にも園長が保育において気がついた事項を伝え、保育方針の理解が深まるようにしています。</li> <li>・重要な意思決定にあたっては、定期的開催される保護者懇談会・運営委員会・にじいろ会で説明し、保護者と意見交換をする仕組みがあります。</li> <li>・主任はクラス会議・乳児会議・幼児会議・給食会議に参加し、また、毎日保育の現場に入り、個々の職員の業務状況を把握して適宜アドバイスをしています。</li> <li>・主任は常に職員の精神面・肉体系面に配慮してシフト調整等にあたっています。職員から主任への相談や連絡は速やかに取れる体勢にしています。職員ヒアリングでは、「安心して相談できる」「気を配ってく</li> </ul>

	<p>れるので働きやすい」という声が聞かれました。</p>
<p>- 3 効率的な運営</p>  <p>(1) 外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業運営に影響のある情報は、園長が新聞記事やニュース、横浜市私立保育園園長会・区園長会・法人本部園長会、児童相談所、地域療育センター等の各機関から収集し、分析しています。保育指針改定・人権保障・個人情報保護・児童虐待等、保育に関わる重要な情報は会議などで共有し、園全体の取り組みとしています。</li> <li>・将来を見据えた事業展開に備え、法人本部では中長期的な事業の方向性を定めた計画を作成し、毎年見直しをしています。</li> <li>・運営に関しては、提携企業やコンサルティング会社等の外部機関や専門家の意見を取り入れています。</li> </ul>

## 利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2010年9月1日～9月14日
- 2、実施方法 保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。  
各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
- 3、回収率 93.2%（44枚配付、41枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス...5人、1歳児クラス...7人、2歳児クラス...8人、3歳児クラス...8人、  
4歳児クラス...7人、5歳児クラス...6人

同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。  
文中の「満足」「満足度」は、「満足」・「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値、  
「不満」は、「不満」・「どちらかといえば不満」の回答を合計した数値です。

### まとめ

- ・総合満足度は、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせると100%です。
- ・満足度100%のものは、給食の献立内容と、子どもが給食を楽しんでいるか クラスの活動や遊びに子どもが満足しているか 昼寝や休憩が子どもの状況に応じて対応されているか、という保育園生活のいわば3本柱の項目、食事、遊び、休息です。
- ・次いで満足度95%以上のものとしては、子どもが大切にされているか 子どもが保育園生活を楽しんでいるか 職員が話しやすい雰囲気・態度であるか、という職員の対応についての項目と、また、子どもが落ち着いて過ごせる雰囲気か 子どもの体調への気配りと、感染症などの発生状況等の情報提供 おもちゃや教材が年齢にふさわしいか、という、子どもをとりまく環境的な項目です。
- ・自由意見欄には、給食については「給食には大満足です、今後もこだわりを持って頑張ってもらいたい」、職員の対応については「きちんと対応していただいているので満足しています」「職員の方が皆さん子どもの名前を覚えてくれているので嬉しいです」等、満足の言葉、感謝の言葉が述べられていて、保育園に対する保護者の信頼感、安心感が窺えます。
- ・比較的満足度の低かった項目は、子どもが戸外遊びを十分にしているか 施設設備についての2項目で、20%以上の不満があります。自由意見欄には「園庭が狭いので、近隣にもっと遊べる施設などがあれば...と思います」「園庭が狭いので、運動遊びなど戸外で身体を動かすことが、少し少ないように思う」等、主に園庭が狭い、という意見が書かれています。しかし反面、「小さい園なので広い庭は無いですが、いろいろ工夫してくれていると思います」「大きい園庭が無い分、近所の公園に積極的に連れ出していただけてありがたいです」等の、理解を示す声もあります。外遊び、運動的な遊びを更に工夫するとともに、園での遊びの実際をよく保護者に知ってもらい、理解を求める取り組みが期待されます。

## 利用者（園児）家族アンケート集計結果

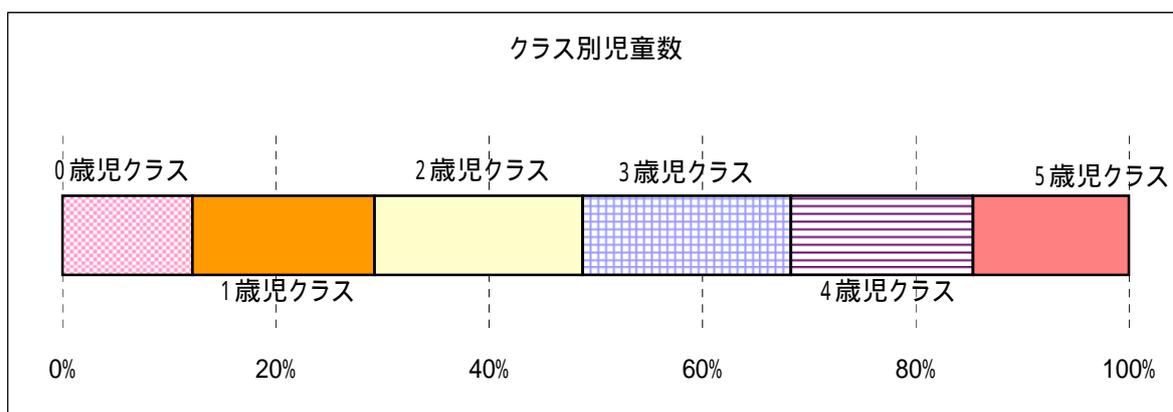
実施期間： 2010年 9月1日～14日

回収率： 93.2% （回収41枚 / 配布44枚）

### 【属性】

クラス別児童数							(人)
合計	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
41	5	7	8	8	7	6	0

同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どものクラスで記入



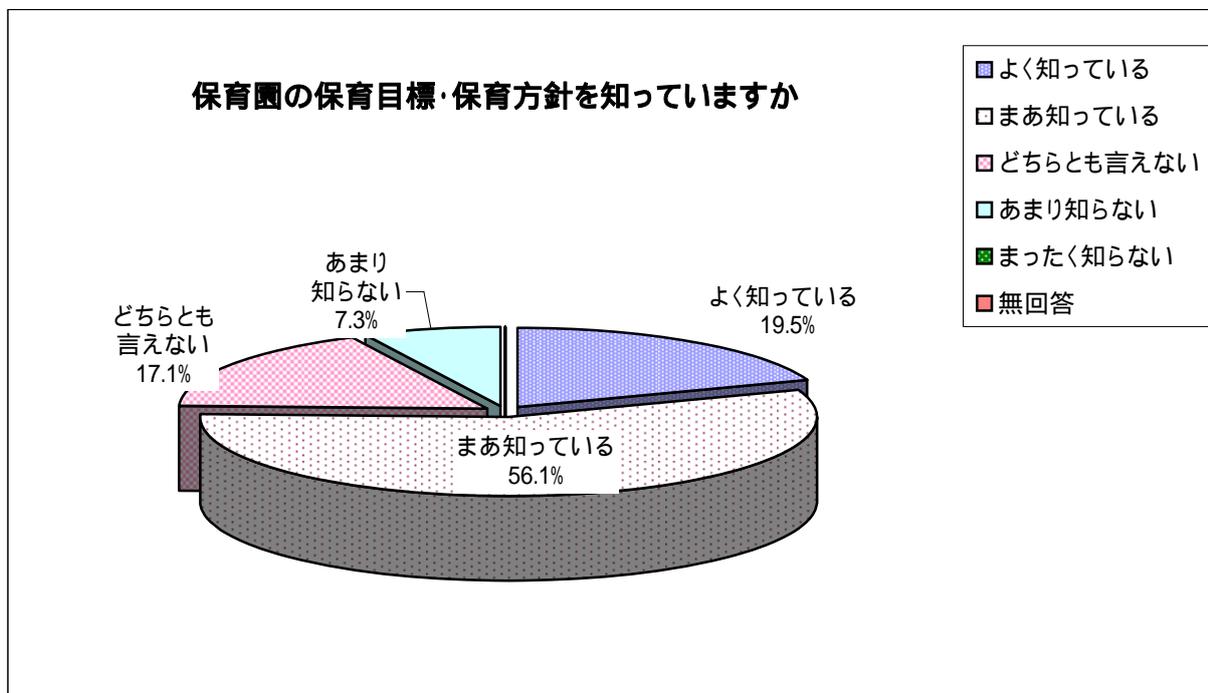
## 保育園の基本理念や基本方針について

### 問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	19.5	56.1	17.1	7.3	0.0	0.0	100

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

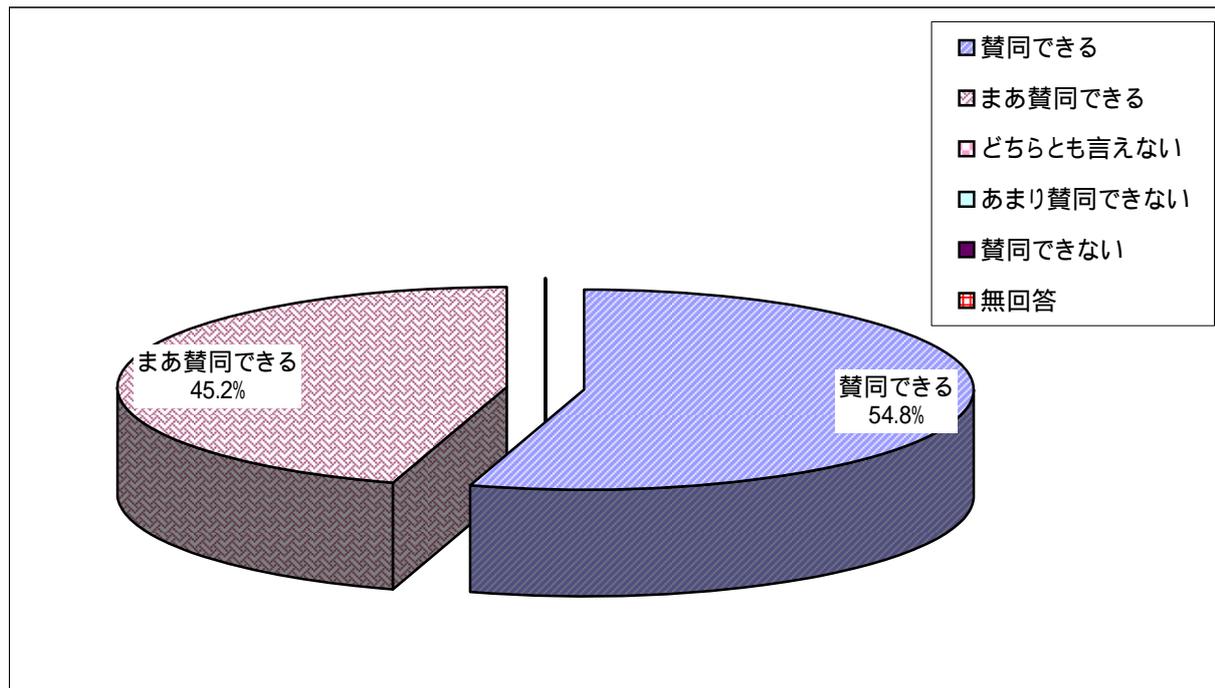


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

### 付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	54.8	45.2	0.0	0.0	0.0	0.0	100



# 保育園のサービス内容について

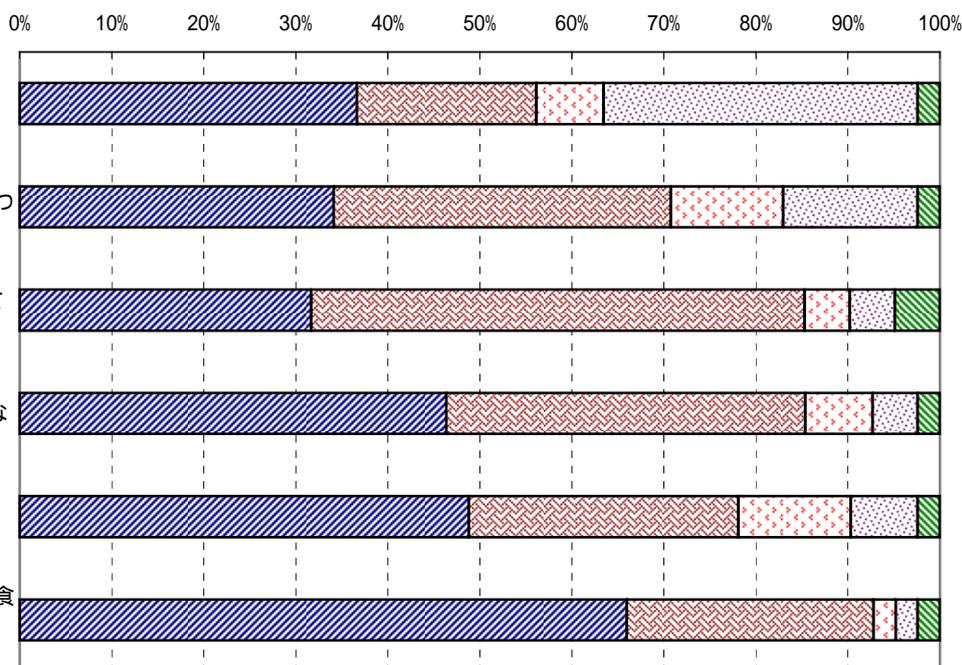
## 問2 入園時の状況について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	36.6	19.5	7.3	0.0	34.1	2.4	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	34.1	36.6	12.2	0.0	14.6	2.4	100
園の目標や方針についての説明には	31.7	53.7	4.9	0.0	4.9	4.9	100
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	46.3	39.0	7.3	0.0	4.9	2.4	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	48.8	29.3	12.2	0.0	7.3	2.4	100
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	65.9	26.8	2.4	0.0	2.4	2.4	100

### 入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



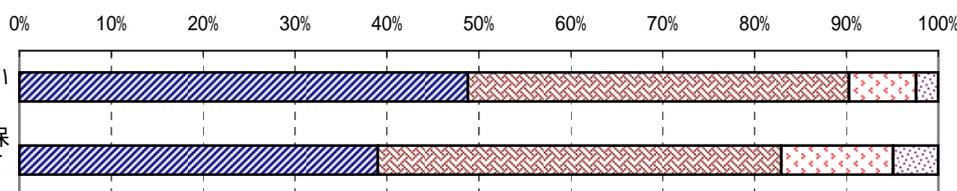
## 問3 年間の計画について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	48.8	41.5	7.3	0.0	2.4	0.0	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	39.0	43.9	12.2	0.0	4.9	0.0	100

### 年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



### 問4 日常の保育内容について

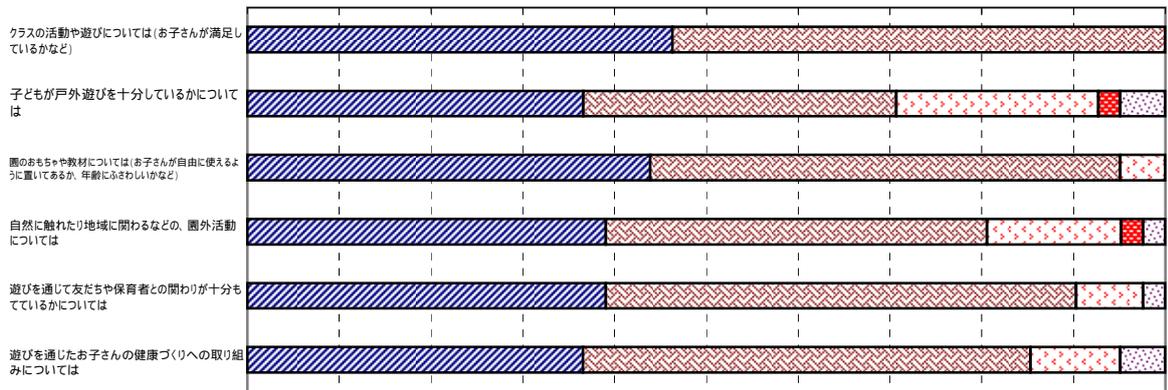
(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	46.3	53.7	0.0	0.0	0.0	0.0	100
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	36.6	34.1	22.0	2.4	4.9	0.0	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	43.9	51.2	4.9	0.0	0.0	0.0	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	39.0	41.5	14.6	2.4	2.4	0.0	100
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	39.0	51.2	7.3	0.0	2.4	0.0	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	36.6	48.8	9.8	0.0	4.9	0.0	100

#### 日常の保育内容「遊び」について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



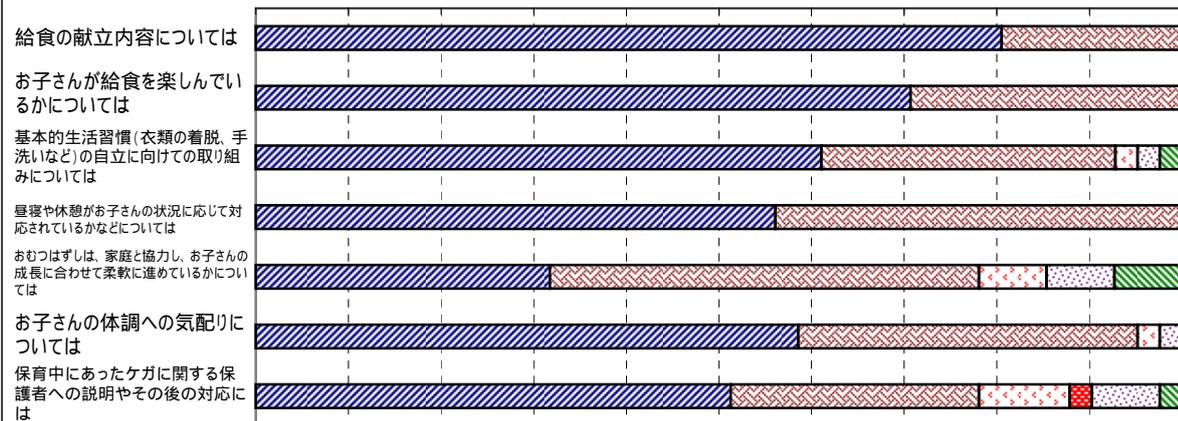
(%)

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	80.5	19.5	0.0	0.0	0.0	0.0	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	70.7	29.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	61.0	31.7	2.4	0.0	2.4	2.4	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	56.1	43.9	0.0	0.0	0.0	0.0	100
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	31.7	46.3	7.3	0.0	7.3	7.3	100
お子さんの体調への気配りについては	58.5	36.6	2.4	0.0	2.4	0.0	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	51.2	26.8	9.8	2.4	7.3	2.4	100

#### 日常の保育内容「生活」について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



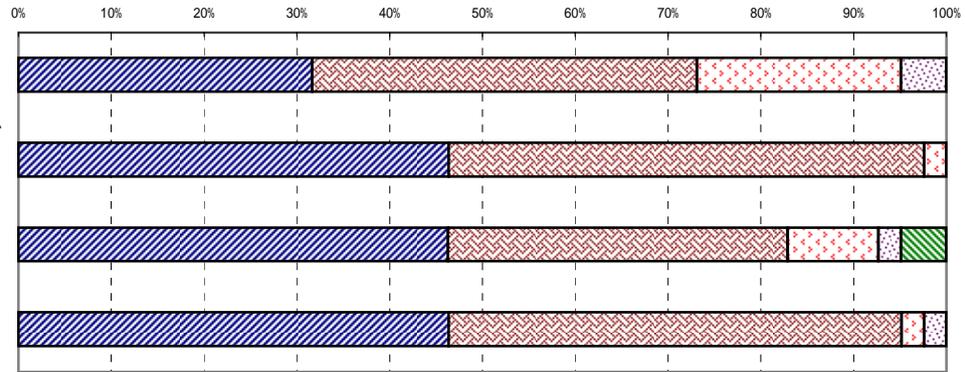
### 問5 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	31.7	41.5	22.0	0.0	4.9	0.0	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	46.3	51.2	2.4	0.0	0.0	0.0	100
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	46.3	36.6	9.8	0.0	2.4	4.9	100
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	46.3	48.8	2.4	0.0	2.4	0.0	100

#### 快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



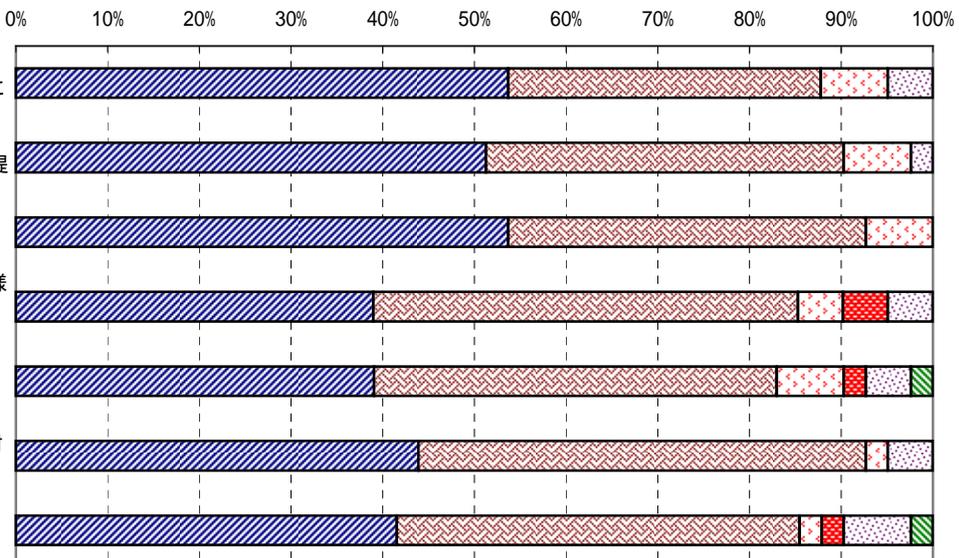
### 問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	53.7	34.1	7.3	0.0	4.9	0.0	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	51.2	39.0	7.3	0.0	2.4	0.0	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	53.7	39.0	7.3	0.0	0.0	0.0	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	39.0	46.3	4.9	4.9	4.9	0.0	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	39.0	43.9	7.3	2.4	4.9	2.4	100
保護者からの相談事への対応には	43.9	48.8	2.4	0.0	4.9	0.0	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	41.5	43.9	2.4	2.4	7.3	2.4	100

#### 園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



### 問7 職員の対応について

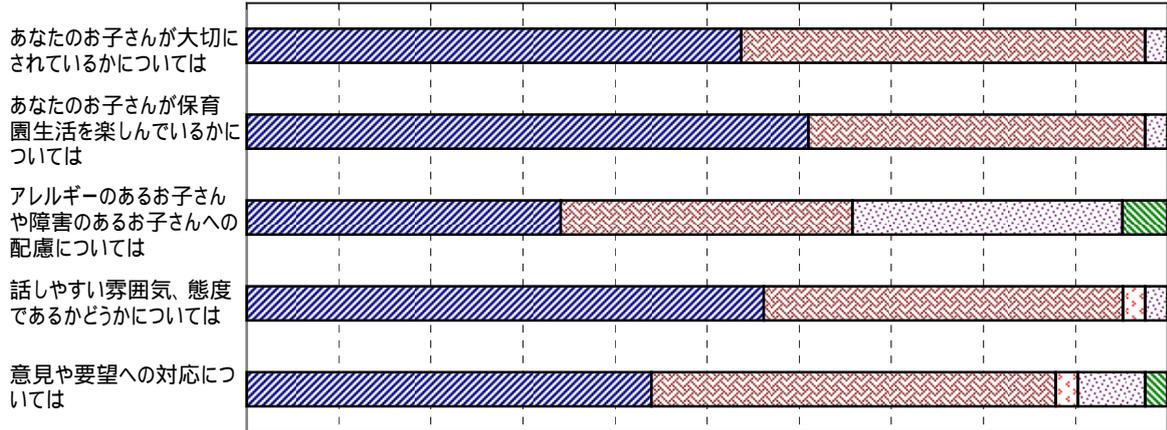
(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	53.7	43.9	0.0	0.0	2.4	0.0	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては	61.0	36.6	0.0	0.0	2.4	0.0	100
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	34.1	31.7	0.0	0.0	29.3	4.9	100
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	56.1	39.0	2.4	0.0	2.4	0.0	100
意見や要望への対応については	43.9	43.9	2.4	0.0	7.3	2.4	100

#### 職員の対応について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

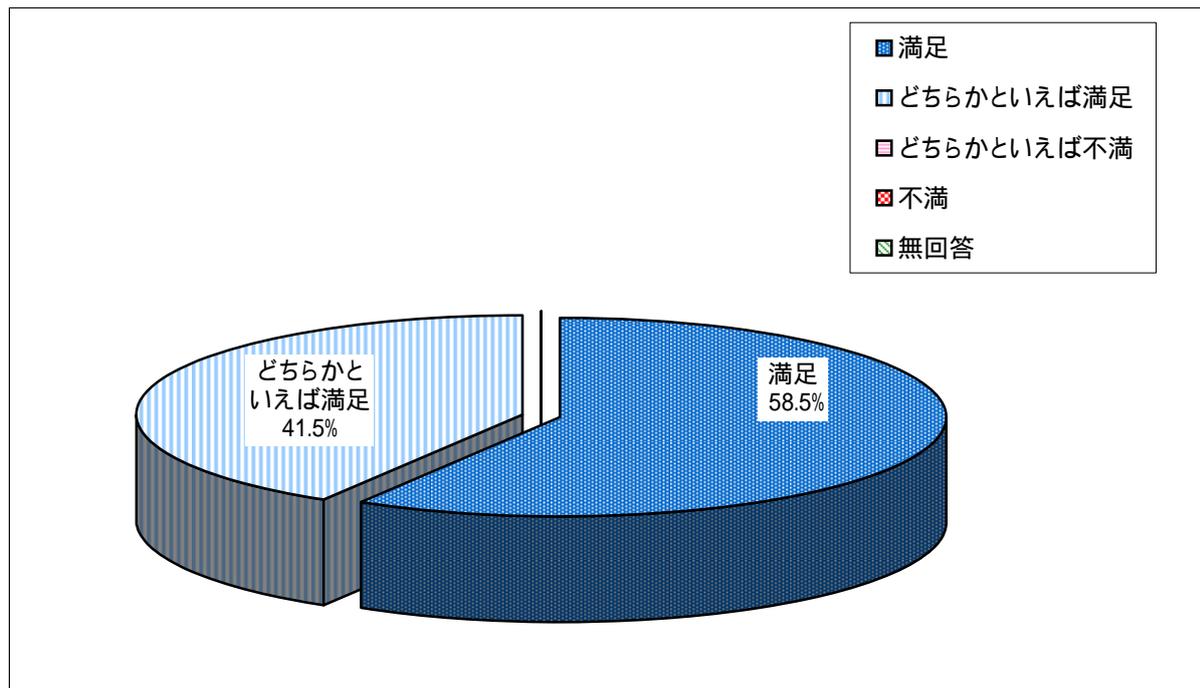
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



### 問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	58.5	41.5	0.0	0.0	0.0	100



## 利用者（園児）本人調査 分析

観察調査 11月8日（月）9：00～18：00 11月12日（金）8：30～17：00  
観察中、幼児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

### 0歳児クラス（だいち）

子どもたちは、観察日には全員1歳になって離乳食は終わっていて、泣く子もあまり見かけませんでした。朝、登園するときは、最初は2歳児の保育室で受け入れます。保育士はやさしく子どもの名前を呼んで声かけをしています。

職員の朝のミーティングが終わると、0歳児の保育室へ移動しますが、保育士は子どもの生活リズムを把握していて、一律に同じ対応をすることはなく、子どもたちは抱っこしてもらったり、オムツを替えてもらったり、絵本を読んでもらったり、一緒にわらべ歌を歌ったりしています。一人遊びをする子どもたちは、安全な素材のボールを転がしたり、木製の車を引いたりして遊んでいます。観察日、5人の子どもたちが公園に散歩に行くときは、3人の保育士が付いて、4人乗りのバギーと、1人はおんぶして行きました。公園では仲よく砂をカップに入れて遊んだり、保育士に順番に遊具に乗せてもらったりしていました。

おやつを食べたり、給食を食べたりするときは、保育室すぐ隣のランチルームの丸く配置したテーブルに集まります。手を拭いてもらい、クラッカーと牛乳のおやつを食べたり、幼児と同じ給食を食べたりしていますが、残す子はほとんどいません。遅い子にも保育士がついて、せかさず見守っています。食べている子がいても、別室に敷かれた布団で、保育士に背中をトントンしてもらい午睡に入っている子もいました。

0歳児クラスの子どもたちは、看護師も入り、一人ひとりの育ちを手厚く見守られています。

### 1歳児クラス（そよかぜ）

乳児クラスの中で公園遊びは0歳児と一緒に、歌や絵本の読み聞かせは2歳児と一緒にすることもあり、臨機応変に過ごしています。

観察日の朝、ブロックで遊んでいた子がなかなか止めようとしませんが、保育士は言い聞かせて、最後にその子が自分で片付けると誉めていました。散歩に行くのが少し遅くなっても、箱型バギーに4人が乗り、自分で歩く子は手をつなぎ、近所の人とあいさつをしながらゆったり行きました。先に同じ公園に着いていた0歳児クラスの担任が、ゴミ拾いや見回りを済ませていたのでお礼を言い、保育士同士は連携しています。公園では、駆け回ったり保育士とボールの転がしっこをしたり、落ち葉を集めて、用意してきた皿に入れ、ままごとが始まったりと、子どもたちは活発です。中には大きな木の根元をじっと観察をしている子もいます。保育士は無理に遊びに誘ったりせず、その子の興味に添って声かけをしていました。

給食を食べるのもスプーンとフォークを上手に使っています。「いただきます」で一緒に食べ始め、一緒に「ごちそうさま」ができる子が増えてきています。

まだ言葉が十分には話せないので、自分の思いが伝えられずに、噛み付いたり泣いたりすることもあります。段々と少なくなってきたようで観察日はそのような場面をほとんど見ませんでした。

0歳児に「バイバイ」と優しく声かけする等、体も心も「赤ちゃん」から卒業していく子どもたちです。

### 2歳児クラス（ふたば）

朝の自由遊びも自分で絵本を見たり、好きなおもちゃで遊んだりしていますが、保育士が絵本を読むときは、一列に並んで座り、よく聞いています。一緒に歌う歌も元気よく歌います。公園に行くときも、2歳児だけで0、1歳より遠くの公園まで歩き、公園入口の階段も頑張って上り、中では駆け回って遊びます。

観察2日目は、園庭の砂場の周りを囲んで遊びました。保育士は、子どもたちが遊びを豊かにできるように、どんぐりや小さい木の枝等を用意しています。カップに砂を入れプリンを作ってその上にどんぐりを飾ったり、泥だんごを作って砂をかけて固めたり、型に入れてたこ焼きを作ったり、それを砂場の縁に並べて保育士に見せたりと集中して遊んでいました。

衣服の着脱や手洗いも、保育士に声かけをしてもらいながらも上手になってきました。トイレトレーニングが終わる子も多い年齢ですが、家庭と連携して、あせらず無理のないようにしています。

食事もこぼさず友だちと話しながらかけていますが、元気よく遊んだ後の食事は眠そうな子もいます。午睡のときは、保育士にそばにいてほしいと甘えていた子も、1歳児と過ごすときは手をつないであげています。

保育士に誉められたり励まされたりしながら、幼児クラスに進む準備をしている子どもたちです。

### 3、4、5才児クラス(うみ・そら・たいよう)

幼児は異年齢クラス編成で、乳児クラスとは別棟の比較的大きな保育室で、一日の大半を一緒に過ごしています。全体でも30人足らずなので大集団ではありませんが、とても元気な子どもたちです。

朝と夕方の自由遊びの時間は、自分の好きな遊びに集中しています。観察日には、朝はテーブルごとに、造形積み木や柔らかい組み合わせブロック等の知育玩具で遊ぶグループ、図鑑や絵本を見るグループ、お絵かき等に分かれて同年齢で遊んでいる子が多いようでした。中には保育士が問題を書いたという自由帳で足し算をして、調査員に見せてくれる子もいました。夕方の自由遊びでは空き箱やトイレトペーパーの芯等の廃材で、びっくり箱やキャタピラー等を作っていましたが、このようなとき活躍するのは4、5歳児で、ハサミを使いたした3歳児は刺激を受けているようです。このクラスで公園遊びに行くときは、年長児は、年下の子と手をつないで往復し、一緒にブランコ、鉄棒等の遊具や縄跳び、ボール遊び等を行っています。保育士は、安全確認をしたり、一緒に遊んだりして見守っています。

室内で保育士の弾くキーボードに合わせて、体操やリズム遊びをするのも大好きです。3歳児は年上の子と一緒と同じリズム遊びを一生懸命演じています。年齢が上がるごとに上手にできることが自分でも分かるようで、4、5歳児は自信のある表情をしています。特に5歳児はつま先立ちでバランスを取るのも上手です。

集団活動で順番を待つときは、注意されることもある子どもたちですが、自分の出番では歌ったり、クイズに答えたり生き生きしています。

トイレ等も自分で行きたい時に行けますが、活動の前後に保育士が誘うこともあります。他の子があわてて乱してしまったトイレのスリッパを揃えている子もいました。

給食時は「給食はおいしい」「毎日くだものもあるよ」等と話しながらかけて、ほとんどの子は決められた時間より早く終わってしまいます。箸やフォークは自分で選んで使用しています。その後、テーブルや給食の片づけ、午睡の準備と保育士は大忙しですが、5歳児も布団を運ぶ手伝い等をします。歯磨きをしたりパジャマに着替えたりしていないときは、本を読んで待っていますが、もっとお手伝いをしたがる子もいるようでした。

このクラスではけんかやもめごとで泣く子がいても、保育士はなるべく子ども自身に考えさせて解決できるようにしています。一方、観察日に泣いてしまった子を保育士が抱っこをすると、他の子が羨ましそうにしたので、保育士が「ちゃんの家は、赤ちゃんが生まれてしっかりお姉さんしているのよね。」と言うと、その子も、家では甘えられない友だちを察したのか納得した表情で、「うん、ちゃんちの赤ちゃん見たよ、かわかった。」とにっこりしました。友だちの気持ちが理解できる子どもが育っていることが感じられました。

異年齢混合保育のよさを生かしながらかけて一人ひとりの気持ちに寄り添う保育士のもと、年齢別の課題にも取り組み、元気に過ごす子どもたちです。

### まとめ

乳児は、一人ひとりの生活リズムが大切にされ、個別対応で愛情深く見守られ、優しい表情をしています。

幼児は、思い切り活動する中で、身体能力や創造性を高め、集団活動時は注意されたりもしながら社会性を身に付けつつあります。

保育士同士は仲よく連携し、助け合って子どもたちを育て、園長は、毎日こまめにクラスを見回りながら、温かいまなざしでそれを支援しています。

## 事業者コメント

三年前の春に保護者の方が安心してお子様を預けられる『陽だまりのように温かい保育園』づくりを目指して開園して以来、マンションの一階で園庭も狭いという限られた環境の中で『より良い保育』の提供を課題に全職員で一丸となって取り組んで参りました。

施設面の物的環境は変えることはできませんが工夫して使い、人的環境である職員は、質の向上を目標に外部研修・園内研修にと力を注ぎ、日々の保育の振り返りを行いながら向上心を大切に良い環境となれるよう努力して参りました。

今回、第三者評価受審にあたり、全職員で自己評価に取り組み、会議を重ねる中で丁寧に保育を振り返ることにより自分自身を見直し、園全体を見直すことが出来ました。その過程においてにじいる保育園戸塚の現状が明らかになり、課題や改善点を全職員で確認することで今後の進むべき方向性も見え、第三者評価受審の意義を痛感いたしました。

保護者の方々には、日頃から温かいまなざしで子どもたちの成長を見守っていただき、保育運営に対するご理解・ご協力に感謝の気持ちでいっぱいです。また、お忙しい中、アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。評価結果は、私どもの今後の保育の励みとなりました。この結果に甘んじることなく、より良い保育園づくりに役立てていきたいと思いません。

最後になりましたが、評価機関である「市民セクターよこはま」の調査員の皆様には、きめ細やかに深く保育を見て評価していただきましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。職員が前向きで生き生きとしているという言葉ににじいる保育園の理念が職員に浸透し、根づいていっていることを実感し嬉しく思いました。

今後にもにじいる保育園の子ども・保護者・職員の一人ひとりが生き生きと輝いていける保育園であり、そして、子どもたちに『生きる力』の土台を育くむ保育をして参ります。

にじいる保育園 戸塚  
園長 中嶋 久子



～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見ることができます ～

市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.jp/kenkou/jigyousyajoho/hyoukaall.cgi>

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.k-daisansyahyouka.org/>

---

特定非営利活動法人



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま 評価・改善事業ユニット

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 26 番地 洋服会館 2 階

TEL:045-222-6501

FAX:045-222-6502

<http://www.shimin-sector.jp>

---